

事務事業名		道路維持補修事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共維持G	課長名	松村 直樹	
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	狩野久志	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2472	
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。				
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		予算科目	0:1:4:0:0:2	大事業名	道路施設管理事業	
目的対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。				中事業名	道路維持補修事業
				1:0:1:0:0:1	中事業名	道路維持補修事業		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①生活道路の利用者 ②雲南市道	①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②修繕(補修)等を実施する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 □単年度のみ ■単年度繰返(H16 年度～) □期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・市道の舗装、ガードレール等の道路施設の維持修繕を効率的に実施する ・各自治会の土木員、郵便局員、道路利用者等からの情報の受付 ・現地確認として道路パトロールの実施
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・道路に関する破損等の情報受付 ・現地確認 ・修繕の実施 ・修繕経費の支出	・各総合センターで実施していたものを、平成28年度より本庁集約した。 ・平成29年度から大規模修繕対応について道路施設整備事業を立ち上げ、対応することとした。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 要望箇所に対する修繕実施率	%	81.7	80.2	80.2	80.2
イ 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	63.3	65.2	63.9	63.9
ウ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	72.3	65.7	68.4	68.4
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
修繕内訳 【大 東】85箇所 8,875千円【加 茂】35箇所 5,540千円 【木 次】48箇所 5,177千円【三刀屋】37箇所 6,217千円 【吉 田】29箇所 4,065千円【掛 合】42箇所 7,439千円 計 276箇所 37,313千円 工事請負費内訳:4箇所 計5,939千円 役務費1,835千円、委託料1,787千円、使用料及び賃借料723千円、 原材料費68千円、公有財産購入費84千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円		4,200			
		その他	千円					
		一般財源	千円	50,608	48,604	47,749	27,593	
事業費計		千円	50,608	52,804	47,749	27,593		

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	道路維持修繕を行うことにより、市民が安全・安心に通行が図れるようになった。
② 事業実施するうえでの課題	道路施設の老朽化に伴い、修繕箇所は増加の傾向にある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	道路環境整備事業の業務委託にて、作業員により簡易修繕等がより迅速に行えるようになった。